

北部病院だより 第115号(2018.1)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】新年のご挨拶
【お知らせ】循環器センター移転について
【医師の配属・異動・退職】
【TOPICS】感染予防について
【TOPICS】クリスマスツリー点灯式について
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【栄養科だより】
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言 ～新年のご挨拶～

新年あけましておめでとうございます。皆様にとってより良い年となりますことを祈念しております。

当院では、長時間労働回避に向けた労務管理や救急患者受け入れ体制の強化、新当直システムの導入など、厚生労働省が進めている「医療従事者の労務管理を主体とする勤務環境改善に向けた対策」を昨年7月から実施しております。

これまで長時間にわたって院内に滞在することが美德のように言われた医療従事者、なかでも医師の勤務体系を中心に見直し、過重労働がもたらす心身疲労の蓄積を回避することによって重大な健康被害をもたらすことがないように、
（門倉 光隆 病院長）
仕事の効率や職務満足度の向上を目指し、患者さんから期待される医療を十二分に提供できるような働き方改革を推進しています。未だ完成された形となったものではなく、試行錯誤を繰り返しながら実施している状況ですが、日々検討を加えて改善できるよう努力しております。

とは言っても、長時間労働を避けるために、習得すべき技術や知識の不足に繋がっては医療を受ける患者さんにとってメリットはありません。「われわれが若いころは・・・」などという、「この人は何を言っているのだ」と言われそうですが、かつて病院に夜遅くまで残って聞いた先輩達の武勇伝などは、どの教科書にも記載のない耳学問として即実践に役立つものが多く、また、その時間帯に救急外来を訪れる患者さんや病棟での緊急処置に駆り出されるなど、昼間には決して見聞きすることのない医療の現場を数多く経験できたと思っています。当時のフレッシュマンは、術直後や病態の不安定な患者さんへの対応、翌日早朝のカンファレンスや教授回診の準備などのため、病院に住み込んでいるかのように何日間も医局に寝泊まりすることが常態化していました。先輩医師や看護師から「ばい菌ちゃん」などと言われぬよう手術室でシャワーを浴び、髭も剃り、消灯後に病棟内の洗濯機で衣服を洗うなど、身支度に気を配る風景があちらこちらで見受けられました。

病院内での仕事の中心が患者さんに対する診療であることは勿論ですが、研究会や学会の準備、論文作成など、直接患者さんの診療に関わらない作業も多く含まれます。これらの作業が自己研鑽の域を超え、「研究成果は将来患者さんに還元されるものであり、これも診療のうち」という考え方には少々違和感を覚えますが、診療とそれ以外の時間、さらにその内容の住み分けは極めて困難であると言えます。

これまで医師の出退勤管理をタイムカードでしっかりと行なっていた医療機関は少ないと思いますが、過重労働が問題視されるようになったことを受け、各医療機関で勤務管理について必至に改革を進めています。当学校法人では昨年から医師の変動シフト制を導入し、夜遅くまで延びる診療業務に対してチーム医療の充実と交代勤務制を徹底させて時間外労働の削減を図っていますが、そのためにはこれを維持するための人員も必要で、各診療科長は人員確保に躍起となっています。

近年、外科系学会では女性医師の躍進に目を見張るものがありますが、妊娠・出産を経てどのように現場へ復帰するか、復帰後の労務管理はどのようにするかなど、多くの課題が残されています。常勤の若い医師達の「おとこ気」だけに頼ってはられません。

今後も不公平感の無い仕事環境の構築を目指すとともに効率的な業務分担を行い、病院全体が一致団結した「総力戦」によって改革を推進することが必要であります。全教職員が働きやすい環境、さらに専門家集団として働きがいのある環境作りに邁進したいと考えています。ご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



お知らせ ～循環器センター移転について～

当院循環器センターの小児循環器部門が、小児から成人までの先天性心疾患・小児期の後天性心疾患・不整脈の診療にあたらせていただいて来ましたが、2018年1月をもって昭和大学病院（東京都品川区旗の台）に移転し、同院に新たに開設される「小児循環器・成人先天性心疾患センター」で診療させていただくこととなりました。下記スタッフおよび手術・心臓カテーテルなど、ほとんどの機能を昭和大学病院に移させていただきます。

移転後はカリフォルニア大学サンフランシスコ校 小児心臓血管外科教授 佐野俊二先生に数か月に一度、来院いただき執刀していただきます。

つきましては、急なお知らせで大変心苦しくはありますが、患者様におかれましては下記の①もしくは②をご選択頂きたく存じます。

- ① 昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センターでの診療継続をご希望な患者様におかれましては、現在と同じスタッフ、体制での診療継続が可能です。
- ② 昭和大学病院小児循環器・成人先天性心疾患センターへの通院が困難な患者様におかれましては、担当スタッフが責任を持って他病院へご紹介させていただきます。

過去1年間に上記医師に受診歴がある方には移転のお知らせを郵送させていただきます。

【北部病院の予約のある方】

2018年6月までに北部病院の外来予約がある患者様につきましては、案内到着後に事務より電話させていただきます昭和大学病院への移転をご了解いただける方につきましては、昭和大学病院での外来の予約を取らせていただきます。昭和大学病院への通院が困難な患者様におかれましては、担当スタッフが責任を持って他病院へご紹介させていただきます。こちらからの電話の際、北部病院の外来予約を取らせていただきます。

【北部病院の予約がない方、過去1年以内に受診歴がなくこの文書をお読みになった方】

現在、外来予約がない患者様で、昭和大学病院への移転を了承していただける方は、大変お手数ですが、受診予定日の6カ月前になりましたら、昭和大学病院予約センターに電話していただき、外来を予約して頂きたく存じます。昭和大学病院への通院が困難な患者様におかれましては、担当スタッフが責任を持って他病院へご紹介させていただきます。北部病院の外来を予約して頂きご来院ください。

その他、ご相談等がございましたら、北部病院の外来を予約して頂きご来院ください。なお、北部病院での循環器センターの外来は、大幅に規模を縮小して、当面こどもセンターで行う予定です。

外来の予約に関しては、今までと同様に予約センターにて受付いたします。

★昭和大学病院での診療をスムーズにおこなうため移転を了承していただいた患者様の治療記録は、適切に昭和大学病院へ移行させていただきますのでご承諾ください。

なお、成人の後天性心疾患に対する心臓血管外科部門は従来どおり、昭和大学横浜市北部病院での診療を継続させていただきます。

昭和大学横浜市北部病院 予約センター 045-949-7489

昭和大学病院 予約センター 03-3784-8522

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

2018 年 1 月 1 日付

【附属施設より】

・相澤 利奈	(産婦人科)	大学病院	産婦人科より
・西木戸 修	(緩和医療科)	大学病院	緩和医療科より
・大下 優介	(整形外科)	大学病院	整形外科より
・菱澤 亨	(整形外科)	藤が丘病院	整形外科より
・小宅 千聖	(こどもセンター)	江東豊洲病院	小児内科より

【他施設より】

・大野 恭子	(産婦人科)	大口東総合病院	産婦人科より
--------	--------	---------	--------

異動・退職医師

2018 年 1 月 1 日付

【附属施設へ】

・富田 英	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・石野 幸三	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・旗 義仁	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・藤井 隆成	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・宮原 義典	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・柿本 久子	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・佐々木 赳	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・伊吹 圭二郎	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・樽井 俊	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・山口 英貴	(循環器センター ⇒	大学病院	小児循環器・成人先天性心疾患センターへ)
・大江 克徳	(麻酔科 ⇒	大学病院	麻酔科へ)
・河野 春香	(産婦人科 ⇒	大学病院	産婦人科へ)
・福井 智康	(内科 ⇒	大学病院	糖尿病・代謝・内分泌内科へ)
・阪本 有	(脳神経外科 ⇒	藤が丘病院	脳神経外科へ)
・篠原 大地	(整形外科 ⇒	藤が丘病院	整形外科へ)
・星野 雄志	(整形外科 ⇒	江東豊洲病院	整形外科へ)

【学外研修へ】

・井口 陽	(産婦人科 ⇒	水戸赤十字病院へ)
・堀内 一哉	(呼吸器センター ⇒	山梨赤十字病院へ)



TOPICS ～感染予防について～

冬季になると毎年インフルエンザウイルスやRSウイルス、ロタウイルスやノロウイルスなど数多くのウイルスによる感染症が、夏季には細菌による食中毒が流行します。感染症の発生には、①感染源②感染経路③ヒトの感受性という三要素があります。そのため感染症の予防には①感染源の除去②感染経路の遮断③抵抗力を高めることが三原則です。

感染源とは感染症の原因となる細菌やウイルスなどを持っている人（感染者）や、それらに汚染された物や食品などです。感染源の除去の一つは感染者を早期発見、早期治療する事、感染者が周囲の人との接触を避けることです。

集団生活では“隔離”を行い、インフルエンザでは発症後5日間、解熱後48～72時間は登園、登校、就業を避けるなどの基準が設けられています。1つは常日頃からの清掃により清潔を保持し、罹患者の吐物、排泄物などを適切に処理することです。ロタウイルスやノロウイルスは環境でも約10日間は死滅しないため、汚染された床や器具、衣類等は次亜塩素酸消毒（漂白剤）による処置が必要です。

感染経路は細菌やウイルスなどの病原体が体内に侵入する経路の事であり、接触感染（経口感染）、飛沫感染、空気感染などがあります。

接触感染は手指、食品、器具を介して粘膜を通して病原体が侵入します。ウイルスが付着した手を介して口以外に目や鼻の粘膜からも侵入することが分かっています。

飛沫感染・空気感染は咳やくしゃみなどで飛沫した病原体を吸い込むことにより病原体が侵入します。

感染経路の遮断とは体内に病原体を入れない対策をすることで、手洗い、マスク、咳エチケット、うがいなどです。手洗いは手についた病原体を洗い落とすために、時計や指輪を外し、手の甲、指の間、親指の付け根、爪と指先、手首までを石鹸を用いてしっかり洗うことが大事です。うがいは風邪の予防には重要と言われていますが、インフルエンザでは粘膜付着後20分で細胞内に侵入してしまうため、その効果は否定的と考えられています。そのためにマスク、咳エチケットが重要です。咳エチケットは「くしゃみや咳をするときは、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。」「鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐに蓋付きのゴミ箱に捨てる。」「マスクをする。」「手を洗う。」などです。

抵抗力を高めるとは体内に侵入した病原体とたたかう力をつけることです。同じ病原体でも体力のある青壮年に比べ、乳児や高齢者では重症化しやすい感染症が多く存在します。規則正しい生活、バランスがとれた食事、適度な運動などにより基礎体力をつけることや予防接種で病原体に対する抵抗力をつけることが重要となります。予防接種は感染を完全には防げなくても重症化を防ぐことができます。

感染予防にはこのように感染源、感染経路、感受性のそれぞれに対策をとり、日頃から清掃や清潔ケア、体調管理、手洗い、咳エチケットを徹底しておく事が重要です。



〈感染管理室 室長〉

〈こどもセンター〉

曾我 恭司 准教授



TOPICS ～クリスマスツリー点灯式について～

平成 29 年 11 月 27 日（月）16 時より、中央棟 1 階のホスピタルストリートにてクリスマスツリー点灯式を行いました。

坂下副院長の挨拶に始まり、病院職員によるハンドベル演奏、門倉病院長による点灯式、ボランティアの合唱グループ【音の輪】によるミニコンサートが行われました。

ハンドベル演奏会は、門倉病院長はじめ、坂下副院長、福山看護次長、看護師 3 名、新人事務職員 2 名の計 8 名で行いました。「もろびとこぞりて」と「ひいらぎかざろう」を演奏し、大勢の観客が見つめる中、お届けいたしました。

門倉病院長にクリスマスツリーの点灯をしていただき、【音の輪】の「もろびとこぞりて」の合唱とともにライトアップされました。

【音の輪】によるミニコンサートは、「ジングルベル」「荒野の果てに」「あわてんぼうのサンタクロース」「きよしこの夜」の曲目でお送りし、院内に響く歌声が、沢山の観客を魅了しておりました。

今年度のクリスマスツリーは脚立を使ったイルミネーションです。電飾やサンタを豪華に飾り付けいたしました。そのほか、1 階正面玄関・4B 病棟（小児病棟）の外広場・1 階正面玄関内に飾り付けも行いました。

お越しいただきました皆さまを始め、今回の点灯式に向けてご協力くださいました関係者の方々、ご尽力いただきありがとうございました。

〈管理課 小林 慧士〉



〈ハンドベル演奏会〉



〈今年度のクリスマスツリー〉



〈ミニコンサート〉



〈1 階正面玄関〉



〈4B 病棟の外広場〉



〈正面玄関回転扉内〉



患者さんからのご意見・ご要望

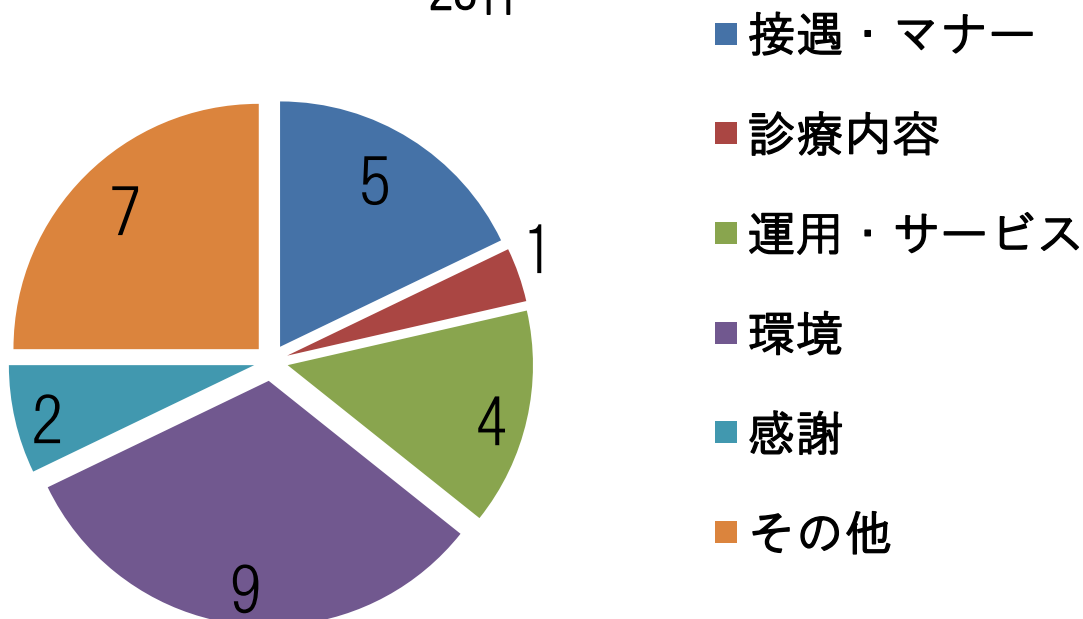
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<環境について> 病棟の面会者用トイレの床面が濡れていて酷く汚れていました。 また、面会者用トイレは男女兼用になっているので、性別にトイレを設置して欲しいです。 他 8 件	現在、病棟 1 フロアにつき 3 名のスタッフで清掃を担当しており、床面の清掃は 1 日 3 回実施しております。 しかし、清掃の合間にこのような事例が発生することもございますので、お気付きの際は病院スタッフにお声がけいただければ対応させていただきます。 病棟内面会者用トイレを性別に設置するのは設備的な問題で対応が難しい状況です。 何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
<その他について> マタニティハウスの面会を姉妹も可能にしていたら、気持ちも楽になると思います。 母はもともと目が悪く、高齢です。姉妹がベッドまわりまで来てくれたら細かく気付き、サポートしてもらえたら、気持ちの支えになると思います。 他 6 件	この度は貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。 マタニティハウスの面会についてですが、母親と新生児を管理している病棟です。防犯上の目的と感染管理のため、現在は患者本人のご主人やお子様、ご両親に限り面会を許可しております。 何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

平成29年11月
ご意見・ご要望の総計
28件



診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2016年11月(入院:30日・外来:23日)、2017年11月(入院:30日・外来:23日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2016年11月	17,932人(597.7人)	26,616人(1,157.2人)	416件(13.9件)	645件(32.3件)
2017年11月	18,397人(613.2人)	26,732人(1,113.8人)	479件(16.0件)	688件(34.4件)

～栄養科だより～

【1/1-1/3 おせち料理】

早朝には霜が降りようになり、寒さも本番となってきました。クリスマスが終わればあっという間に年の瀬とお正月を迎えます。

三が日にはおせち料理をご用意させていただく予定です。おせち料理には、1年の幸福を願うメッセージが込められています。

喜び(よろこぶ)を祈願する昆布巻きや、まめに(健康に)暮らすという意味の煮豆などは皆様ご存知の方も多いかと思います。ほか、かまぼこはその形が日の出に似ており、また紅白であることから縁起物とされています。また、お祝いの席の魚と言えば、「めでたい」にかけまして鯛が登場することが多くありますが、成長につれて名前が変わる出世魚の鰯も縁起物とされており、お正月には照り焼きとして皆様のお食事に登場します。

2018年が皆様にとって幸多き一年となりますよう、おせち料理とともに、栄養科一同心よりお祈り申し上げます。

〈栄養科 星川麻美〉



★編集後記★

新年、明けましておめでとうございます。年末年始は如何お過ごしだったでしょうか。今上天皇が譲位を希望されたことを受け、「平成」という元号が一年を通して用いられるのも最後の年となりました。

今年は大きなスポーツイベントがあり、2月に韓国で平昌冬季オリンピックが、6月にはFIFA World Cup ロシア大会が開催されます。普段あまりスポーツにはご縁の無い方も、たくさんの競技をメディアを通してご覧になるかと思えます。またこれを機会に、日頃の運動不足解消に向けて、一念発起されている方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。でも、まだまだ寒い日々が続きますので、どうかご無理をせず健康な身体を維持できるよう、適度な運動を心掛けて下さい。

私どもはこの広報誌を通して、時代に即した医療に関連する有益な情報を、皆様方へしっかりと提供していきたいと考えております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

〈副院長 成島 道昭〉



北部病院だより 第115号

平成30年1月1日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。